

令和6年1月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年1月分について、輸出額は「自動車」、「自動車の部分品」、「重電機器」などが増加したことから、対前年同月比22.7%の増加となった。また、輸入額は「自動車」などが増加したものの、「液化天然ガス」などが減少したことから、同2.9%の減少となった。

その結果、差引額は4,838億円（同86.4%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降152ヵ月（12年8ヵ月）連続 全国港別（空港を含む）第1位。輸出額が1月に1兆円越えは初。1月として過去最高。

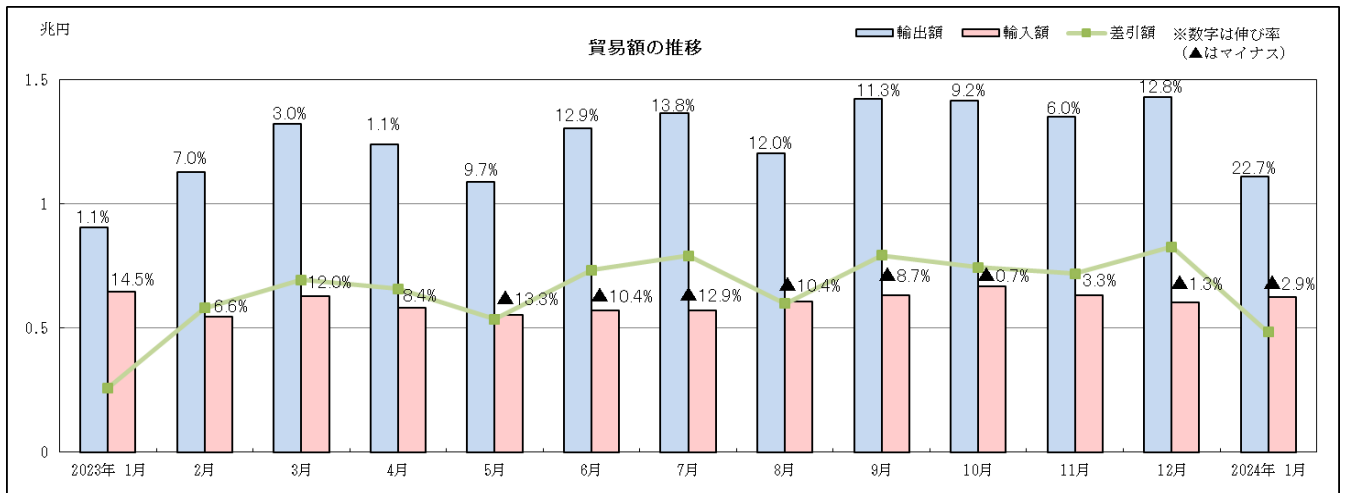
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

| 区分 | 輸出額 | 伸率 | 輸入額 | 伸率 | 差引額 | 伸率 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|
| 名古屋港 | 1兆1,104億円 | +22.7% | 6,265億円 | ▲2.9% | 4,838億円 | +86.4% |
| | 27ヵ月連続の増加 | | 2ヵ月連続の減少 | | 9ヵ月連続の増加 | |
| | 順位 過去 26 位 | 1 月として 1 位 | 順位 過去 12 位 | 1 月として 2 位 | 順位 過去 133 位 | 1 月として 2 位 |
| 管内（名港シェア） | 1兆7,214億円 | (64.5%) | 1兆1,859億円 | (52.8%) | 5,356億円 | (—) |
| 全国（名港シェア） | 7兆3,327億円 | (15.1%) | 9兆0,910億円 | (6.9%) | ▲1兆7,583億円 | (—) |

○主な増減品目

| | 概況品名 | 金額 | 伸率 | 寄与度 | 増減 |
|------|-------------|---------|----------|------|-----------|
| 輸出増加 | (1) 自動車 | 3,355億円 | +35.1% | +9.6 | 18ヵ月連続の増加 |
| | (2) 自動車の部分品 | 1,498億円 | +33.5% | +4.2 | 5ヵ月連続の増加 |
| | (3) 重電機器 | 367億円 | +30.6% | +1.0 | 10ヵ月連続の増加 |
| 輸入減少 | (1) 自動車 | 103億円 | +1713.8% | +1.5 | 5ヵ月連続の増加 |
| | (1) 液化天然ガス | 572億円 | ▲25.7% | ▲3.1 | 10ヵ月連続の減少 |



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。